

139 等差数列(1)

第4項が8, 第7項が23の等差数列 $\{a_n\}$ の一般項は $a_n = \boxed{\text{ア}}n - \boxed{\text{イウ}}$ であり, 初項から第10項までの和は $\boxed{\text{エオカ}}$ である。

140 等差数列(2)

等差数列5, 9, 13, 17, ……の100より大きく200より小さい項は $\boxed{\text{アイ}}$ 個あり, それらの和は $\boxed{\text{ウエオカ}}$ である。

141 等比数列(1)

各項が実数で, 第4項が24, 第7項が192の等比数列 $\{a_n\}$ の一般項は $a_n = \boxed{\text{ア}} \cdot \boxed{\text{イ}}^{n-1}$ であり, 初項から第10項までの和は $\boxed{\text{ウエオカ}}$ である。

142 等比数列(2)

初項6, 公比4の等比数列の初項から第 n 項までの和は $\boxed{\text{ア}} \cdot \boxed{\text{イ}}^n - \boxed{\text{ウ}}$ であり, 初項からの和が初めて1000を超えるのは第 $\boxed{\text{エ}}$ 項までの和である。

143 等差中項・等比中項

異なる3つの整数 a, b, c は, 和が -3 である。また, a, b, c がこの順で等差数列であり, b, c, a がこの順で等比数列であるとき, $a = \boxed{\text{アイ}}, b = \boxed{\text{ウエ}}, c = \boxed{\text{オ}}$ である。

144 和の計算(1)

- (1) $\sum_{k=1}^n (4k-5) = n(\boxed{\text{ア}}n - \boxed{\text{イ}})$
- (2) $\sum_{k=1}^n k(k+1) = \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}n(n + \boxed{\text{オ}})(n + \boxed{\text{カ}})$ (ただし, $\boxed{\text{オ}} < \boxed{\text{カ}}$)
- (3) $\sum_{k=1}^n 4 \cdot 3^{k-1} = \boxed{\text{キ}}(\boxed{\text{ク}}^n - \boxed{\text{ケ}})$
- (4) $\sum_{k=1}^{20} \frac{1}{k(k+1)} = \frac{\boxed{\text{コサ}}}{\boxed{\text{シス}}}$

145 和の計算(2)

数列 $1 \cdot 1, 2 \cdot 3, 3 \cdot 5, 4 \cdot 7, \dots$ の初項から第 n 項までの和 S は,

$$S = \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}n(n + \boxed{\text{ウ}})(\boxed{\text{エ}}n - \boxed{\text{オ}})$$
である。